

第5回 品川区まちづくりマスタープラン改定委員会

令和4年10月27日

都市計画課長	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまから、第5回品川区まちづくりマスタープラン改定委員会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、ご多忙のところ、ご出席を賜りまして、ありがとうございます。</p> <p>会に入ります前に、本委員会は品川区まちづくりマスタープラン改定委員会設置要綱に基づき公開とすることとしており、本日4名の傍聴者がおられます。また、本日の傍聴人の方から録音の申出がございましたので、これを許可したいと思います。</p> <p>次に、本日、副委員長におかれましては、所用のため御欠席となっております。</p> <p>委員の皆様には、事前に送付させていただきました会議資料をお持ちいただいていることと思いますが、資料の確認をさせていただきたいと思います。資料につきましては、資料1、まちづくりマスタープラン改定素案、それから資料2、オープンハウス説明会開催結果報告、参考資料としまして、第4回改定委員会からの主な変更点、それから、別添としまして第4回委員会の会議録でございます。併せて、本日、机上にてA3横の資料、左上に第5章地区別まちづくり方針説明資料というところも机上にて配付させていただきました。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これより会の進行は委員長に行っていただきたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>皆さん、おはようございます。大分寒くなってきました。今年の暮れから始まっていますので、おおむね1年経過してきたということでございます。本日、第5回ということで、今日もいろいろと御意見をいただければと思います。</p> <p>では、まず、改定素案の説明に入る前に、先に9月に開催されましたオープンハウス型説明会についての報告をいただいて、それに続けて、前回素案としてお示ししました1章から4章について、多少手を加えているということですので、その変更点をまず事務局から御説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
都市計画課長	<p>よろしくお願いいたします。説明のほうは着座にてさせていただきます。</p> <p>それでは、初めに、オープンハウス型説明会の実施結果概要でござい</p>

ます。資料の順番が前後し申し訳ございませんが、初めに資料2、A3横資料を御覧ください。オープンハウス型説明会の開催状況についてでございます。前回、第4回委員会でお示した第1章から第4章の改定素案および第5、第6章の骨子案の内容について、オープンハウス型の説明会を実施してございます。

資料1ページ左下を御覧いただき、実施した4会場での来場者の数ですが、区民公園パークセンターが104名、大崎ニューシティが175名、区役所が75名、スクエア荏原、この当日、台風の接近と、それから大雨警報が日中出ていたという関係もございまして、スクエア荏原は少ない結果でございましたが、5名と、計359名の方にお寄りいただいております。

次に、資料右下を御覧いただき、意見聴取方法といただいた御意見の数は資料記載のとおりでございます。

次に、資料をおめくりいただき、2ページ目と3ページ目にはいただいた意見を分野別、地区別に取りまとめております。時間の関係上、説明は一部割愛させていただきますが、2ページ目の防災・復興分野では災害に強いまちづくりの重点的な取組について、また、都市基盤分野ではバリアフリー、移動しやすいまちづくりについて、水とみどりの分野では水資源の活用や公園の充実について、また、都市景観分野では個性を生かした景観づくり、環境・エネルギー分野では地球温暖化に配慮したまちづくりについて、都市生活と住まいの分野では静かで豊かな住生活、空き家の活用などについて御意見をいただいております。

次に、資料3ページを御覧いただき、地区別では、品川地区では風情を残した景観づくり、大崎地区ではスタートアップや協業できる場づくり、また、まちのにぎわいや活気などについて、大井地区では区役所建て替えによる高齢者、景観へ配慮したまちづくり、荏原地区ではコロナ禍の身近な場所の整備などの御意見をいただいております。

こちらの資料の説明、駆け足となりましたが、資料2の説明は以上となります。

なお、資料中青字で記載したものは、改定素案に考え方や方向性が含まれる、また近いものを青字で表記し、また、これから素案の中で説明させていただく新たなまちづくりの視点に沿った御意見については、緑で囲った「新」と記載したマークで表記させていただいております。また、意見としてより個別具体的なもの、また直接は計画素案の内容に関

わからないものは黒字のままとしており、より引いて見れば趣旨としては青字記載にできるものもあろうかと思いますが、いただいた御意見を一定整理させていただいているものでございます。

それでは、引き続き説明させていただきますが、お手元の資料1を御覧いただけますでしょうか。改定素案の1章から4章の分野の分野別の部分まで説明させていただきます。説明は、8月の第4回改定委員会の中でお示しした前回素案から修正・加筆した部分を中心に説明させていただきます。お手元のA3横、参考資料に前回素案からの主な変更点をお示ししておりますので、併せて御確認いただければと思います。

それでは、資料1のほうをおめくりいただきまして、まず目次のページを御覧いただけますでしょうか。左下のほうにQRコードを示しておりますが、現在の素案では、視覚障害者の方が音声読み上げ機能を利用し計画内容を御確認いただけるよう、区ホームページのQRコードを追加してございます。最終的には、切り込みをつけ、QRコードによる音声アプリ対応を計画本編全体で行うか、また、前回委員会の中では、概要版は作成予定がない旨、御答弁申し上げましたが、概要版を作成し、概要版のほうで切り込みによる音声対応を行うかは今後検討してまいります。

また、計画全体について、カラーユニバーサルデザインに基づく配色に修正しており、こちらも全体の話となりますが、語句説明としてページ下に注釈を入れ、巻末参考資料に語句説明の一覧を整理してございます。

それでは、資料をおめくりいただきまして、1-3、1-4ページを御覧いただけますでしょうか。今回、資料1-4ページで記載させていただいている内容は、前回素案では第2章の新たなまちづくりの視点のところで記載しておりましたが、質の高いまちづくりと、現在1-4ページでお示したまちづくりの方向性とした記載の関係性が分かりづらいとの御指摘をいただきました。今回は1-4ページに記載のあらゆる災害への備えや技術革新で進化する社会等を、これまでの社会状況の変化、計画改定の背景として、第1章の改定の目的のところで再整理させていただいております。

続きまして、1-6ページを御覧ください。1-6ページでは、計画全体の構成が分かるよう、構成と概要を新たに記載してございます。

次に、第2章に移りまして、2-7ページを御覧いただけますでしょ

うか。2-7ページ、区の特性・変化の人口の部分についてですが、前回素案では、図として、区のこれまでの人口推移と現状のみを示す形でしたが、今後の人口推計が前回の素案では示されていませんでした。今回、人口の推計と将来見通しの図を加え表示しております。また、2-7ページ左下のほうには、コロナ禍における月別の人口推移も表示してございます。

次に、これも前回御意見をいただいた部分となりますが、2-9ページから2-12ページでは、区の特性として、前回素案では示しているデータが少ないといった御意見をいただき、第1回の改定委員会で整理し、お示ししたデータ等を加えて、内容の充実を図ってございます。併せて、それぞれの特性・変化で示した図から課題として見えてくるところは、その旨を文章で記載してございます。

次に、2-14ページを御覧いただけますでしょうか。下段部分、これまでのまちづくりの主な成果と課題を整理したページとなりますが、前回の素案では緑四角のゴシック体部分のみを記載し、その記載が、今後の課題的な表現というよりも、今後の取組的な記載となっておりますので、なぜ今後こうした取組を進めていく必要があるかについて、課題としての表現を記載し、整理してございます。

次に、2-15ページ、16ページを御覧いただき、こちらは参考資料の主な変更点の2ページも併せて御覧いただけますでしょうか。先ほど第1章の改定の目的のところを御説明しましたが、これまでの社会情勢の変化のところを前回素案では当該位置に記載しておりましたが、この部分から移して第1章で記載し、この新たなまちづくりの視点のページでは、第1章の改定の目的からのつながりが分かるように、2-15ページ上段の緑の字のタイトルの表現を記載のとおり修正してございます。併せて、前回素案では新たなまちづくりの視点を「質の高いまちづくり」と記載していたものを、中段の緑の記載の中心の位置に表記となりますが、「新たなまちづくりの視点」と直接表記し、シンプルに分かりやすく伝わるよう修正してございます。この2-15ページ全体としましては、構成を簡素化し、第4章以降につながる流れで再整理してございます。

次に、2-16ページを御覧いただき、こちらはイメージのタイトルを見直し、新たなまちづくりの視点をより分かりやすく、イメージ画像を変更しております。

次に、ページをおめくりいただき、3-2ページを御覧いただき、ここでは本計画と上位計画である区基本構想の関連性を表により整理してございます。

次に、ページの3-3を御覧いただきまして、将来都市構造についてでございますが、この将来都市構造図の中に、水とみどりの軸についても将来都市構造に位置づけるものとして記載してございます。

駆け足で申し訳ございませんが、次に資料3-8ページを御覧いただき、こちらでは将来都市構造と分野別まちづくりの目標等との関係性を表により整理してございます。

次に、第4章の分野別の部分に入りまして、4-1ページを御覧ください。前回素案では、この部分で冒頭として強靱なまちを分野連携として打ち出しておりましたが、その唐突感から、前回委員会でも分かりにくいなどとする意見をいただいております。これは後ほど御説明しますが、「強靱なまち」につながる分野連携を章の最後に移行し、唐突感を抑え、各分野を整理した最後にまとめとして打ち出す流れで整理してございます。

次に、それぞれの分野別の記載での修正・加筆部分についてですが、各分野共通での修正部分を都市基盤の分野別のところで御説明いたしますが、4-11ページを御覧ください。前回素案では、冒頭の記載の現状を示す図などのデータがございましたが、先ほどの2章での区の特性・変化の記載の充実とともに、4章の各分野冒頭でも各分野の現状を示す図やデータを示し、また課題の整理も加え表記いたしてございます。

次に、4-13ページを御覧いただきまして、前回素案では、まちづくりの成果について、文章と写真での説明となっておりましたが、新たにまちづくりの成果を示す定量的なデータも追加し、表記してございます。

次に、4-16ページを御覧いただきまして、これも各分野共通の表示として、新たなまちづくりの視点による取組が分かるよう、緑の丸で「新」のマークで表記してございます。

次に、4-19、20ページを御覧いただき、これはほかの分野でも同様でございますが、前回御意見としていただいた、方針図等の図や凡例の文字が小さいとの御指摘について、レイアウト上、できるだけ図、文字を大きくし記載してございます。

	<p>分野別の共通事項としての修正内容は以上でございますが、次に、各分野に新たに追加した部分となりますが、参考資料の4ページを御覧いただけますでしょうか。4ページの表下の下から3つの部分でございますが、防災・復興と都市基盤および水とみどりの各分野について、記載の取組を追加してございます。</p> <p>次に、資料4-53、54ページを御覧ください。併せて参考資料5ページのほうも御覧いただき、先ほども御説明いたしました、「強靱なまち」につながる分野連携を、前回素案での分野別冒頭記載から、資料のとおり、分野別の最後に移行し記載しております。記載に当たりましては、6つのまちづくりの方針を踏まえて、「防災・復興」分野を軸に、効果的な連携を進めていく趣旨の表現に修正し、6分野の平常時の取組において、大規模災害への備えや災害時の効果発揮を意識し、強靱なまちにつなげていくことを示す図として整理してございます。また、災害時にどのような効果を狙って、防災・復興を軸に、分野を超えた取組を連携させていくのかが伝わるよう再整理しているものでございます。</p> <p>以上がオープンハウス型説明会の実施概要報告および計画素案1章から4章までの説明でございます。説明は以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。大分駆け足だったので、なかなか追いついていないかもしれませんが、まずは最初に御報告いただいたオープンハウス型説明会の成果報告について何か御質問、御意見がありましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>最後の荏原地区のは台風にぶつかっちゃったということで、ちょっと残念な結果に終わりましたが、それでも大崎なんかは175名ということで、関心が高かったのかなと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>どうぞ。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私からは2点ほどお伺いしたいと思いますが、こちらの来場者359名、意見聴取についてもかなり多くの意見をお寄せいただいたのかなと思うんですが、この結果を区民の皆さんにまた御報告といたしますか、共有するような、何かそういうプロセスがあるようでしたら教えてください。こういった意見聴取は、聞いただけで、その後どうなったか分からないみたいなことが時々ありますけれども、その後の何か取組</p>

<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>があるようでしたら教えてください。</p> <p>あともう一つ、資料2の2ページの右側、都市生活と住まい分野という中での居住環境の一番下のところ、黒字になっていますが、「保育施設の設置を、まちづくりの観点でも書いてほしい」というような御意見があったようですが、こちらが黒字になっております。これだけの御意見だったとすると、具体的にどういうことを意図されてこれを書いたのかというのがちょっと読み取りにくい部分もあるかと思うんですが、やはり保育施設ないしは子育て環境とまちづくりは非常に密接に関連していると思うんですが、この点、区として黒字として判断された、ないしは、ほかの計画で十分こういったことを考えて取り組まれているということでしたら、説明をお願いできればと思います。</p> <p>事務局、お願いします。</p> <p>まず1点目の、今回オープンハウス型説明会でいただいた御意見についての内容と計画への反映も含めた区民の方への周知でございますが、基本的には結果について区のホームページのほうで公表させていただくと。その際、当委員会の資料をただ単にアップするのみではなくて、そこに分かりやすく説明をつけさせていただいて公表させていただくというところで今考えてございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>それから、2点目の資料2ページ目の「保育施設の設置を、まちづくりの観点でも」というところにつきましては、いただいた御意見、詳細にその方の御意思を確認してというところまではなかなか確認はしていないんですが、基本的にやはり待機するような状況も場合によってはあるので、保育園というのはできるだけまちづくりとセットで計画いただけないかというところだったんですが、区としましては、基本的には保育園の設置については計画的に待機児童ゼロを目指してこれまでも取り組んでいるというところで、この資料上は黒字にさせていただいているところです。ただ、これから素案の中でもところどころに、まちづくり、再開発等と併せて、そうした機能の充実という記載もございますので、先ほど冒頭でも御説明させていただきましたが、これに限らず、ちょっと引いて見ると青字になっていくところも幾つか、当然ながら、あろうかと思えます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>多分、ほかの計画を以って保育施設等はやられているとは思いますが</p>

<p>都市計画 課長 委員長 委員</p>	<p>ので、4章で分野別のところに関連する計画の名前を入れていただいていますので、そういうところでフォローできればいいのかなとも思いますので、具体的に書き込むのであれば少し検討していただければと思います。</p> <p>はい、分かりました。</p> <p>ほかに、この説明会関係で何かございますでしょうか。どうぞ。すみません。座ったまま発言させていただきます。</p> <p>この意見なんですけれども、子ども連れの方が多く来場という記載があるんですけれども、御意見が、実際に子育てをされている女性の方とか男性の方の意見とか、このまとめられたものでは全然分からない。どういった方の、年まではあれですけれども、何年代とか、そういうのが分かったほうがいいんじゃないかなと思うんですけれども。</p> <p>あともう一点、多分ファミリーもいらしていたようなんですけれども、小学生、中学生、そういったお子さんの意見みたいなものは実際に区の職員の方がお聞き取りになられたんでしょうか。</p>
<p>都市計画 課長</p>	<p>まず1点目の来場していただいた方の年代別の構成ですとか、できるだけ分かりやすくこの資料の中に落とし込みたいというところはあったんですが、通常のアンケートですと、まずそこに年代を書いていただいて、集計して細かく表示というところができるんですが、なかなか、当日の区の職員の聞き取りというところもあって、そのときに区のほうで20代あるいは30代、40代というところも併せてお聞きすればよかったんですが、今の御意見をいただいて、これを区のホームページで公表するに当たって、そうした整理ができて公表できるかどうかもう一度チェックして、より分かりやすい資料に作り込んで公表していきたいと思います。</p> <p>それから、いただいたお子さんの具体的な意見でございますが、当日、中学生であったり、例えばしながわ区民公園ですとか、そうした中学生の方が、公園に遊びに来られて、それで声がけして見ていただいて、いろいろ御意見等お聞きしてみたんですが、なかなか、その場でいろんな意見をいただくという結果には至らなかったんですが、具体的にはお一人の方が10代の方で御意見をいただいたと、結果としてはそのような状況でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>

委員	<p>アンケートではなくて、このオープンハウス型、ポスター貼って、その前でお話をするということなので、なかなかそういうところまでの把握は難しいとは思いますが、公表できるデータになるのであれば、追加して公表したほうがいいかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。どうぞ。</p> <p>座って失礼します。</p> <p>先ほどの御意見に一部重複するところもあるんですけども、一意見として述べさせていただきます。2ページ目ですね。具体的に御意見の内容、明記されているんですけども、年齢だったりとか性別だったりとか属性だったりという情報があったほうがやはりよりリッチな情報にはなるかなと思いました。例えばなんですけれども、真ん中くらいに書いてある都市景観分野の一番の下の「タワーマンションばかりでない街並みを残してほしい」という発言をされた方の属性がもし高齢の方とかであれば、昔ながらの街並みを残してほしいなという思いにも取れますし、でも、もし最近引っ越されてきたような20代、30代くらいの子育て世帯の方たちが、タワーマンションではない、昔ながらの、品川らしいといいますか、伝統的な建物を求めているのであれば、今後のまちづくりの方向性というか、これからを担っていく現役世代といいますか、そういう方の声なのであれば、より注力してやるべきかなとも捉えられますし、貴重な御意見なので、そのあたりの属性、今回で終わりではなく、今後も取組は続けられると思いますので、ぜひ年代、属性など把握されたほうがよいなと個人的に感じました。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>御意見ありがとうございます。確かに、どんな人が言った意見かによって今後の対応は違ってくるのかもしれませんが、逆に、違っていいのかという疑問も出てくる部分もあるかもしれませんが、分かったほうがいいのかというのは確かにあるかと思います。</p>
委員	<p>どうもすみません。このオープンハウス型の説明会はまたこれからも計画されているのでしょうか。</p>
委員長 都市計画課長	<p>事務局、どうぞ。</p> <p>オープンハウス型の説明会は今回で終了というところなんですけど、これから、計画策定、公表の前にパブリックコメントという形で、全区民の方に向けてそうした手法で意見をお聞きしていきたいというところでございます。</p>

委員	<p>それで、パネル10枚にまとめてとあるんですけども、我々の町会内でもいろんなイベントがありますので、そのときにお貸しいただければ、そこでもちょっと展示ができると思うんですが、それはいかがでしょうか。</p>
都市計画課長	<p>ありがとうございます。ぜひこの後、どのタイミングでそうした意見聴取をまた行うかというのは内部で検討して、より多くの方に御意見をいただけるように工夫してまいりたいと思います。</p>
委員長	<p>なかなかすてきなアイデアかと思いますので、ぜひ、区が主催するだけではなくて、そういった町会とかいろんな団体さんがやって意見を集めてもらうというのもあり得るなど今の御意見で思いましたので、ちょっと考えてみましょうかね。御意見の中にもやっぱり、オープンハウス型説明会は意見の反映方法としては弱いという御意見があったり、中学生向けの説明会とか、お子さんの意見を取り入れる工夫をしたほうが良いというのがありますので、もうちょっと時間的に難しいところもあるかもしれませんが、何らか工夫ができればいいのかなと思います。</p> <p>ほかいかがでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>2ページの都市生活と住まい分野の件で、こちらで「ボックス型の喫煙場所を増やしてほしい」という意見がありますが、これは喫煙者の意見なのか、それとも非喫煙者の方の意見なのかということなんですが、最近やはりお店の入り口、コンビニとかもそうなんですけど、入り口に灰皿があったりとかして、そこで吸われるということで、無風状態で受動喫煙が直径14メートル、半径7メートルに及ぶと言われている中で、かなりな問題になっているのではないのかなと。これはどちらの意見なのかということ、分かりますか。</p>
委員長	<p>分かりますか。</p>
都市計画課長	<p>こちらの意見は、喫煙者の御意見としていただいているものでございます。たばこをお吸いになられる方の御意見としてですね。区のほうでは、受動喫煙を減らしていく観点から、駅周辺の非常に人が多く集客、集まるところの道路上であったり公園内に今、箱型の喫煙場所を設置して、そうした取組を進めているというところも御承知の中でのいただいた御意見と受け止めているところでございます。</p>
委員長	<p>いかがでしょう。</p>
委員	<p>それを増やしていくと、今言ったような店舗の置いてある灰皿とか、</p>

<p>都市計画課長</p>	<p>そういうやつというのは何かしら改善ができるということでしょうか。</p> <p>所管するところに店舗含めた喫煙に対する取組については確認はさせていただきますが、基本的には路上での喫煙についてまずは取組を進めていくというところでボックス型の喫煙所を整備していると。併せて、さらに細かいところの取組についてはまた確認させていただいて、次回以降に御報告させていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいですかね。喫煙の問題はなかなか難しいところなんですよ。私の大学がある西新宿も、コロナになってビルの中の喫煙スペースを閉鎖した時期があって、そうすると、みんな道路で吸っているんですね。新宿区内は基本的に路上喫煙禁止になっているんですけども、遠慮なく車道で吸っていると、そういうのも随分目にしましたけれども、造ったら造ったでいちごっこになる可能性もありますけれども、区のほうも御苦労されているのかなと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>また次のステップとしてパブリックコメントをいただくという機会をつくることになっていますので、いずれその報告も出てくると思いますけれども、先ほど申し上げたように、いろんなチャンネルで御意見を聞くというのは非常に大切なことだと思いますが、時間も限られている中で、少し工夫していただければと思います。</p> <p>それでは、この説明会の報告についての議論はこのくらいにして、次に、1章から4章までの前回素案をお示しして、そこから少し変更した部分が出たということで御説明いただきましたが、1章から4章までの間で、先ほどの変更点について中心に御質問とか御意見、あるいは前回以降お気づきになった点なんかありましたら御意見としていただきたいと思います。1章から4章、どこからでも構いませんので、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>質問よりか、意見といいますか、感想といいますか、全体として、前回ちょっと理解しにくい部分についても大分整理していただきまして、すっきりしたかなと思います。とはいえ、しっかり読もうと思わないとなかなか読み込みが大変なぐらいボリュームがあって、なかなかすっと読めないところは多分概要版という形で区民の皆さん方にも幅広く読んでいただくということになるかと思います。ですので、大分整理していただきまして、どうもありがとうございます。</p>

	<p>1つだけ、瑣末なことにはなるんですが、4-13ページのところで、まちづくりの主な成果というところが、都市基盤の4-13ページのところになりますが、ここでdataという形で赤い表がありますけれども、その一番下の歩行空間・道路空間の整備のところでバリアフリー化が掲げられ、これは「バリアフリー計画を策定」と表現されていますが、バリアフリー計画という言葉が使われているのでしょうか。これ、バリアフリー基本構想がいわゆる正式な名称なのかと思うんですがけれども、その点、この1行に収めなければいけないというところからなのかなとも思うんですが、基本的には正式な名称を使っていただくのがいいかなと思いました。小さなことです。</p>
<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>以上です。 いかがですか。 失礼いたしました。いただいた、まさにその正式名称で修正させていただきます。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>では、そのとおりにしていただければと思います。ありがとうございます。 ほかいかがでしょうか。どうぞ。 着席のまま失礼させていただきます。</p>
<p>都市計画 課長</p>	<p>最初に質問なんですけど、素案の1-5ページで、計画期間の文章、下から3行目、「なお、『4.6 都市生活と住まい』、これ、どういう意味なのでしょうか。 本計画、品川区のまちづくりマスタープラン、現行の計画を今改定しようとして見直しを行っているわけなんですけど、この現行の計画が、都市計画のマスタープランと住宅マスタープラン、両方の性格を併せ持つ計画として10年前に策定してございます。今回、この改定版の住宅マスタープランのところも含めて今改定作業を行っているというところで、その住宅マスタープランを兼ねるところというのが分野別という都市生活と住まいの分野というところでの表現でございまして、基本的に上位計画の東京都の計画がおおむね5年ごとに見直しなり確認がされてございますので、その上位計画との進捗確認を併せて行っていく旨をここで記載させていただいたと。住宅マスタープラン、この分野別のところを5年後にここだけ見直しますということではなくて、その進捗等を確認しながら、取組等、改善が必要な部分についてはしっかり検討していく旨でこういう表現をさせていただいたところでござ</p>

委員	<p>います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>あと、私のちょっと個人的な思いなんですけれども、委員会、回数を重ねるごとに素案も大変、事務局の方の御努力でいいものが出来上がってきていると、自画自賛で思っているんですが、1-6、計画の構成、これ非常に分かりやすいんですね。これをしょっぱなに、1-1に持ってくるようなことができれば、最初から文言ばかりでいくよりか、これが一番最初にあると、入ってきやすい、分かりやすいかなと、個人的な思いです。</p> <p>それとあと、ちょっともう二、三点、すみません。細かいところで恐縮なんですけれども、4-21、水とみどり。みどりなものですから、ぜひ一番下の円グラフは緑か何か使ってもらおうとありがたいかなと思います。</p> <p>それともう一点、それも細かいことで申し訳ないんですけれども、4-14。4-14、今作成中の図なんですけれども、これ、せっかく一番下に①から⑩まで打って、それをこの中で、これが①ですよ、②ですよと表現していきたいと思うんですけれども、飛び過ぎるんですよ、目が。だから、左側に①から⑤を全部集めてもらいたい。⑥から⑩を右側に集めてもらいたい。そうすると、追っていきやすいんですよ。細かいところで申し訳ないですけど、それができればと。もう一つそのような作成中のものがありましたけれども、後ろのページのほうで。そういうふうにできればと、これは私の個人的な意見です。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。基本的には御意見ということなんですけど、何か事務局からコメントありましたらお願いします。</p>
都市計画課長	<p>3点いただきましたが、計画の構成を記載する位置、これは、いただいた御意見踏まえて、どの位置が一番効果的かというところはもう一度検討したいと思います。</p> <p>それから、水とみどりのところは、こちらの分野別は同じトーンの色でこの章全て通しているというところがございますが、確かに、御意見として、やはり水とみどりなので緑にしたいというところも思いますので、そこももう一度検討したいと思います。</p> <p>それから、まさにイメージを持っていただくための今作成中の図ですが、全てを右左でできるかどうかというのは、これからその視点でも</p>

委員長	<p>う一度やってみますが、全てでなくても、やはり上下の関係ができるだけ見やすいようにブラッシュアップしていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>貴重な御意見、見やすさというのも大事ですよ。4-14、今だと、図の中の番号もあっちゃこっちゃ順番が飛んでいますから、そのくらいは整理したほうがいいかもしれないですね。ありがとうございました。</p>
委員	<p>ほかいかがでしょうか。どうぞ。</p> <p>前回のときに、私、目が悪いもので、見にくいという点で、非常に、今見させていただいて、本当に見やすくなったと。色もきれいにつけていただいて、字もよく見えるようになったので、ありがとうございます。</p> <p>それと、ただ、これは莫大なというか、ページ数が非常に多い。何とかこの辺をまとめられないのかなと思うんですけども、例えば4-21の水とみどりという、このところに、水辺と今後のこれを活用していこうじゃないかというところを、例えば5-14の運河沿いのエリアの臨海部というようなものと合併させて、この地域ではこんなことを考えているとか、こういう構想で将来やっていきたいんだというような、多分見る方は、エリアごとの、自分の住んでいるところの近隣が将来どういう状況になるのかなというような、希望とか、そういうものがあると思うので、だから、ぜひともそういうところにまとめて、水辺をもっとみんなで大切にしようねとか、うまく活用していこうねというような気持ちになっていくんじゃないかなと思いますので、そうすると、ページ数も減るかどうかわからないですけども、まとめていただけると見やすくなるんじゃないかなという気がします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。どうでしょう。なかなか難しい御意見かなと思いましたが。</p>
都市計画課長	<p>ページ数をできるだけ、構成を効果的にして、手に取っていただいて、見やすくというところで、できるだけページにぎっしり図と文字と写真がならないように、やはりぱっと見たときに読んでみようと思っただけのように、一定程度空間を取りながら、レイアウトなんかも工夫しながら今校正をかけているところなんですけど、あと、やはり水辺のことが取組と一緒に、データと取組がセットであると、例えば水辺にお住まいの方々がより現状と取組を知っていただけるという意味で</p>

<p>委員長</p>	<p>は、まさにそのとおりだと思ひまして、現行計画では品川区の各分野別の取組というのを最初のほうに持ってきて、全てまとめて掲示しているんですが、今回の改定版ではそれぞれの分野ごとのところの冒頭に現状のデータを持ってきて、その分野の中で取組とともに現状も見ていただけるような工夫もしているところでございます。例えばということで、先ほど例示でいただいた御意見、そのまま採用というのはなかなか難しいんですが、もう一度ページを減らす方向で、より効果的な見やすい構成等で工夫ができないかというのは、これは公表、製本にする直前まで、できるだけそうした視点で取組というか、作業を進めていきたいと考えてございます。ありがとうございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>少し頑張ってくださいませうか。前回私が言った、先ほどの説明の中にも概要版の話が出てきましたけれども、やはり概要版は、市民の皆さんに見ていただくには重要なツールだと思うんです。ほかの自治体で言ったことがあるんですが、先に概要版作りませんかという話をしたことがあるんです。それはなぜかという、概要版を作るということは、コンパクトに何を伝えたいかを取捨選択して、一番伝えたいことから、優先順位の高いものを概要版に入れるんだと思うんです。だから、本編が全部できてから最後に作るんじゃなくて、先に作って、そこに肉をつけていったらどうですかという提案をしたんですが、却下されましたけれども、やはり概要版はそういう性格があって、区が区民の方に何を一番伝えたいかを凝縮させたものだと思うんです。だから、そういった面では、これだけ大部に、もしかしたらもう少し増えるかもしれないので、大部になるのを作るだけではやはり十分に周知はできないのかなと思ひました。</p> <p>それともう一つは、今インターネットの時代なんですが、どこの自治体のマスタープランとかプランのアップされているのを見ても、やはり、これをそのままPDFで載っけているだけで、よくて切り分けているだけなんですよね。リンクがない。だから、水とみどりの分野別の計画を見たら、それが関係する地区別に飛ぶとかという工夫はほとんどされていないんです。電子ブック的な発想になっていないと思うので、もし可能だったら、そこをやってみませんかと僕は御提案したいですね。だから、インターネット時代にどういうふうに見ていただくかというのは、やはりここに出てきた、ここをクリックすると地域別にリンク</p>
------------	--

委員	<p>が飛ぶとか、そういうことがインターネットだからこそできる。紙じゃ絶対できないので、そういった工夫を考えていただくといいのかなと思いました。今の御意見を聞いていて僕も触発されました。ちょっと大変かもしれませんが、考えてみていただければと。</p> <p>すみません。今のお話を聞いていまして、多分、今の前段の話で、みんなの意見を聞きましようという話をしながら、それを網羅したら、こんな冊子になると思うんです。そうすると、やはりどうしても、その意見に応えるためには、こういう全ての意見にある程度触れたような冊子にならざるを得ないと思うんです。そういうことで、基本の考え方というのはこの冊子でいいと思うんです。今おっしゃったように、概要版というか、例えばざっくりまとめたような内容の冊子を作って、みんなに見てもらおう。詳しいことはこれを見てくださいというような話でという形の、前後の問題はあるんですけども、そういう考え方で進めたほうが、多分、この冊子を全部読んでくださいと言っても、なかなか読みにくい部分があると思うので、今御意見があったように、やはり、これはこれとしてまとめて、別に、概要版という言い方ですけども、そういう形でもいいんですけども、すぐ見て、あれと分かるような内容の形がいいと思うんです。今、私どもでは歴史本というのを作っているんです。歴史本というのは、膨大な資料を集めた、こんな冊子が表にあるわけです。それをコンパクトにまとめた参考用の冊子を作って、取りあえず詳しい内容は別として、こういうのがあるよと。最後には子ども向けの冊子を今作っているんです。そういうことで、いろいろなパターンを考えて、やり方をしたほうが、この基本の冊子をなかなか削っていくとか、そういうのは意見が網羅されにくい部分があるので、ぜひそういうことも考えていただければと思います。</p>
委員長 委員	<p>貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>今の御意見と先ほど委員長の言われた御意見、大賛成で、この中でいろいろなほかの関係資料だとか、区役所だとかいろんなところのホームページで繰ると、そのデータをPDFでば一っと繰るんですが、すごいページ数繰るんですよ。ただ、自分がその中から選択して見たいものというのに本当飛んでいけるという方法がなかなかないので、それはPDFでなくても、関連したところに飛んでいけるようなことは大賛成なので、よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。御賛同いただいて、ありがたいです。</p>

委員	<p>どうぞ。</p> <p>すみません。2回ほど欠席してしまったので、今までの議論の経緯をあまり、完全に理解していないんですけども、ちょっと客観的に見て1つ気づいたところですが、昼間と夜の話、時間的な、例えばまちの構成の話とか、その辺の要素は入っていますかね。というのは、景観のところではライトアップみたいな話がありますし、ヒアリングの中でもありましたけれども、オフィス街ですと昼間たくさん人がいて、夜になると寂しくなっちゃうとか、その辺の分析とか反映みたいなものは入っていましたっけ。確認なんですけど。</p>
委員長 都市計画課長	<p>事務局、お願いします。</p> <p>昼と夜の品川区の現状については、御指摘、お話しいただいた景観的なところでの取組のところでは、第1回目の委員会の中での品川区の現状の中では少し整理させていただいて、それから、昼夜間人口のところでの品川区の現状のところでも、そうした分析、状況の把握というのはしているところがございます。具体的に計画全体の中に、まさに御指摘いただいた、昼間は非常に就業人口が多く、夜はなかなか人がいないようなときにどうした取組をしていくかというのは具体的には示されてございません。全体として、にぎわいですとか魅力の創出ですとかというところでは書いているところはございます。そうした視点で、どこかに書くべきところ、あるいは書けるところがないかは、もう一度全体を確認して検討していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>大事な御指摘をいただきました。では、検討するというところでお願いいたします。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>3章の3-2のところなんですけれども、表があって、品川区基本構想（5つの都市像）と書いてあるところですね。こちらの上段見出しで未来を創る子育て・教育都市というのがあるんですけど、これを追っていくと、都市生活と住まいというところに特に関連が強い項目となっているんですけども、後ろのほう、そちらを見てもあまり、子どもの子の字も、教育施設も出てこないんですよ。それが1点、どうしてなのかなというのと、あと水とみどりのところなんですけれども、しつこく前回から申し上げていますが、実際に子どもたちが遊べる公園をつくっていただきたいんですよ。土曜日、日曜日、親子でキャッチボールもできない、ちょっと蹴りもできない、芝生の中は入っちゃ</p>

<p>委員長</p>	<p>駄目、そんなめでる公園ばかりつくっても、実際生活されている方はあまり楽しくないんじゃないかなと思いますし、高層マンションができていく割にはそういう遊び場というのは本当に少なくなっていますから、やはり具体的に、せっかくこういう見直しがあるので、どこかに、それこそある程度の時間を絞るとか、安全的な問題もありますけれども、テニスの壁打ちができるところもないでしょうし、バスケットゴールもないんでしょうし、そういう遊べる場所ですね。あと、泥んこになって遊べるような場所もあってもいいかなと思うので、そういうところを何か1つぐらい入れていただけたらなと思います。</p> <p>ありがとうございます。事務局から、特に1つ目のお話はどうでしょう。</p>
<p>都市計画課長</p>	<p>長期基本構想ですので、品川区全体のまちづくり、当然、以外の教育ですとか、様々な構想の中の全体で、そこでまちづくりの分野が担うべきところ、担っていくべきところに丸をつけさせていただいたところなんですけど、御指摘で、実際、都市生活と住まいのところで、教育という観点の具体的な表現はないんですが、子育てですとか、子育て世帯の住宅取得支援やファミリー向けの住居促進ですとか、子ども等の見守りですとか、そうしたところはところどころに示させていただいて、その関係の表の中でもそこに丸をつけさせていただいたというところがございます。もう一度その視点で、ほかにそうした表現をするべきところがないかというのは、最終形に向けてもう一度確認はしたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>公園のほうはコメントございますか。担当の部署、どうぞ。</p>
<p>公園課長</p>	<p>公園課長の高梨と申します。</p> <p>今いただいた公園に関する御意見についてなんですけれども、今回のマスタープランの下位に属するというか、位置する水とみどりの基本計画・行動計画、これは令和4年3月に改定させていただいているんですが、その中でも公園について、整備方針という形で記載させていただいております。まず、絶対的に区民1人当たりの公園面積がまだまだ足りていないというところで、まだ公園のない町会、公園を持たない町会であったりとか木造住宅密集地域等ありますので、そういったところ、優先順位をつけながら、多くの公園をまずは整備していくということで位置づけをさせていただいております。また、子どものアイデアを</p>

<p>委員長 委員</p>	<p>生かした公園づくり等、特色ある公園づくりについてもそちらのほうで記載させていただいておりますので、これにのっとなって進めていく考えでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>いかがでしょう。</p> <p>ありがとうございます。私が申し上げているのは、遊具があればいいとか、そういうんじゃなくて、昔はもう広場があって、子どもなんていうのは雑草が生えてりゃ雑草で遊びますし、もっと自由に遊べる公園をつくっていただきたいというのを、これ、長期の計画なので、やっぱり将来にわたってやっていかないと、籠の鳥みたいな公園ばかりできちゃうような気がするので、何か方針として具体的に明示していただければいいかなと思うんですが。</p>
<p>委員</p>	<p>御意見として、公園課長も聞いていますので、承っておきたいと思います。多分そこを議論し始めると、都市マスが完成しなくなるかもしれないので。ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。どうぞ。</p> <p>今に関連しまして、もちろん完成に向けての質問なんですけれども、その3-2のところ、品川区の基本構想の上の青いほうですね。そこには、左から2番目、未来を創る子育て・教育都市ということ掲げておられるわけですね。なので、この縦軸から見ると、例えば防災・復興でも、妊婦さんとか小さいお子さん連れでも安心して避難できるとか、都市基盤についても、「多様なひとの移動や活動を支え、歩きたくなるまち」のところも、子どもたちが安全に歩ける、それこそ公園に行く道も心配なく歩けるとか、水とみどりのところも、公園ばかりが遊び場ではなくて、水に落ちては困るんですけども、水場とか緑の中で子どもたちの遊びとか健康につながるようなことが考えられますし、都市景観についても、その地域の文化とか歴史とか、そういったことを学べるまちにもなるかなと思いますし、環境・エネルギーについては、エネルギー、エコのそういった、地球環境を大事にしていくんだよというようなことを学べるような要素がまちにもあるだろうとかいうふうに見ていくことができるかなと思うんです。なので、そうすると、全部に丸がつくかということ、恐らく、この下に特に関連が強い項目とありますので、丸のつけ方の問題だと思うんですが、やはりそういった視点で見ると、実は書いてあること、ないしは書けることがあるのかなとも思います。なので、その点ちょっと再度見ていただいて、もしそうい</p>

<p>委員長</p>	<p>った観点でも書き加えられること、ないしは既に書いてあることがあるようでしたら、御確認いただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。確かにそうですね。ここの縦軸が丸1個というのがちょっと寂しいかもしれないですね。何か未来がないみたいに見えるので、やたらめったら丸つけるのはよくないですけども、やはり、特に関連が強い項目だと、もう1つ、2つぐらいは丸がついてしかるべきかなという気もしますし、中身については、丸がついている、ついていないにかかわらず、少し意識して見ていただいて、不十分なところがあれば書き加えると、よくなるんじゃないかなと思います。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。どうぞ。</p> <p>具体的なところなんですけれども、4－50ページの「③住み続けるひとのコミュニティを育む場を創出する」のところなんですけれども、これ、新しいというマークが3つついていて、特に新しく書き加えられた、比較的斬新な取組というか、そういうふうイメージしているんですけども、それに対しての写真が、これ、親が子どもを連れて一緒に遊べるスペース、コミュニティースペースみたいなイメージかなと思うんですけども、これだと、既に取組をしているし、新しい感があまり感じられないかなとも思いました、それに対しての3つの新しいマークの具体的な中身を見てみますと、例えば3つ目の下のところだと、空き地・空き家などの有効活用で交流を生むような空間の創出と書いてありまして、品川区の場合、空き地・空き家になってしまった見込みが伝統的なすばらしい家屋を居抜きにして、新しい事業者さんが入ってカフェをやるとか、そういう事業がメディアで広く報じられ、ニュースも目にします。個人的にも知人が品川区内でそういう事業をやっているという事例を聞いていますので、そういう事例を、もちろん掲載できるかどうかは別途調整と思うんですけども、品川区は取組をやられているすばらしい事例があるので、せっかくなので、載せられたら載せると、より10年後、こういう取組を品川区やろうとしているんだ、既に事例があるんだというので、いいイメージになるかなと思いました。真ん中の2つ目の「新」というマークの、子どもや高齢者を見守り、助け合うコミュニティの育成というの、既に例えばおばちゃんちというコミュニティもあって、私自身も活用させていただいたことあるんですけども、品川区のその取組、個人的にはすばらしいと思</p>

委員長	<p>っていまして、高齢の方で子育て経験のある方が子どもを見てくれるということで、お互いに助け合うというのが既にやられていますし、このように明記もされているので、写真であると、より分かりやすいですし、いいかなと思いました。一意見ですが、お願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。写真は、ほかの部分も含めて、もう少し精査する必要があるかもしれないですね。ぜひこの部分は、今の御意見を含めて検討してください。</p> <p>ほかにかがででしょうか。この4章までの議論ですが、よろしいでしょうか。</p> <p>後で思い出した部分があれば戻っていただいても構いませんが、もう一つ今日の大事な議題がありますので、残りの第5章、第6章についての議論を始めたいと思います。前は骨子でお示した5章、6章を素案という形にさせていただきましたので、まず事務局から御説明をいただいて、意見交換をしたいと思います。</p> <p>事務局、お願いいたします。</p>
都市計画課長	<p>それでは、資料1の5章、6章の御説明をさせていただきます。時間の関係もございますので、説明は一部割愛させていただきます。</p> <p>資料は第5章、地区別になります。5-1ページ、5-2ページにつきましては、まず地区別まちづくりの方針となりますが、ここでは地区別エリア、地区区分等を示させていただきます。</p> <p>次に、資料5-4ページを御覧いただきまして、ここからそれぞれの地区ごとの記載が始まっていくわけですが、5地区の地区別の取組については、それぞれ同じ構成となっております。</p> <p>まず初めに品川地区でございますが、地区の概況を示し、次に、資料をおめくりいただきまして、5-5、5-6ページでは、地区でのまちづくりの主な成果、今後の課題、まちづくりの目標とこれからのまちづくりのポイント等をお示ししてございます。このあたりは前回骨子としてお示した内容、変更等はございません。品川地区につきましては、地区のまちづくりの目標、「先進性と伝統の魅力が融合し次世代の首都・東京の玄関口となる国際交流都市」というところでございます。</p> <p>次に、資料をおめくりいただきまして、5-7、5-8ページを御覧いただけますでしょうか。まちづくりの方針図と各エリアでの取組、こちらが一目で分かるように、それぞれの地区でもこうしたまとめ方を</p>

してございます。ここでは第4章の分野別とのつながりを意識し、各取組がどの分野となるのか、また重点的な取組としての強靱なまちづくりにつながるものが分かるよう、各マークで取組の頭に印をつけ、整理してございます。

続きまして、5－9ページ以降、各エリアでの取組となりますが、ここからは本日机上配付させていただきました5地区のそれぞれの方針図を御覧いただきながら、位置番号を確認いただきながらお聞きいただければと思います。

まず、5－9ページ、四角1の品川駅南エリアでございます。こちら、まず黒の丸1つ目、地域資源を活かしたまちづくりによるにぎわいの創出と魅力の向上ということでございますが、当地区、旧東海道ですとか品川浦、閑静、静かな住宅街である御殿山、目黒川・天王洲運河など様々な地域資源がございます。こうした地域資源を生かしながら、地元の機運に併せ、今後も地域特性に配慮したまちづくりを進めていくというところでございます。その中での黒丸の2つ目でございますが、こちらは、一番下のほうに品川駅南地域まちづくりビジョンというところも示させていただきましたが、品川駅や北品川駅直近でのポテンシャルを生かした土地利用の転換の誘導というところでございます。品川駅につきましては、リニア中央新幹線品川駅開業の見通し等もございます。にぎわいの拠点や土地の有効利用の検討を進め、旧東海道や品川浦の景観等を保ちながら、業務、商業・観光・宿泊・交流・居住等の都市機能の導入を図ってまいります。続きまして、その隣、5－10ページでございます。一番上、「強靱」のマークをつけてございますが、八ツ山踏切、こちらが京急連続立体交差事業および北品川駅前広場整備事業が事業決定され、取組が今進められております。引き続き、踏切事故、交通渋滞等の解消を図りながら、土地利用の誘導や交通結節点の強化、地域の一体化を進めてまいります。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、5－11ページを御覧いただけますでしょうか。四角3の天王洲エリアでございます。こちら、上から2つ目の黒丸、天王洲エリアにつきましては、地域主体となって様々な取組、特にアート、ミュージアム、そうしたものが体感できるような、それから水辺とアートが映える街並みの形成というところの取組が進められてございます。当エリアにつきましては、品川区の景観の重点地区の指定もさせていただきながら、こうした取組を地域と

共に進めていきたいというところでございます。それから、3つ目の、「強靱」マークがついてございますが、この地域の特徴でございますボードウォークを生かしたにぎわいの充実、こうしたところも現在、イベントの実施ですとか、取組が進められております。回遊性を高めながら、にぎわいの充実を図っていくとともに、やはり船着場等々については災害時の防災機能活用も図っていききたいというところでございます。

続きまして、5-12ページでございますが、四角の4の旧東海道品川宿エリアでございます。5-12ページの黒丸の2つ目、歴史や伝統を感じながら、歩きたくなるウォークアブルな空間の形成と。これからは、歩きやすいから歩きたくなるまちづくりというところで、旧東海道地区エリアにつきましては、地域のまちづくり団体と連携しながら、歩いて楽しいウォークアブルな空間形成を目指してまいりたいと考えてございます。続きまして、5-13ページ、御覧いただけますでしょうか。黒丸が3つ並んでございますが、やはり歴史的な景観を守り育てていくというところで、現在、区のほうで修景費用の助成ですとか、あるいは景観形成基準に基づく街並み誘導の取組等々進めてございます。一番下には修景イメージの絵も入れさせていただいておりますが、今後取組を進めていくというところでございます。

続きまして、5-14ページ、四角の5、広町一丁目周辺エリア、こちらについては、工業地域、準工業地域というところでございます。こうした機能を守りながら、まちづくりの中で緑道ですとか道路の拡幅、広場の整備を進めながら、こうした工業ゾーンとしての操業環境についても維持、守っていききたいというところでございます。

続きまして、5-16ページを御覧いただけますでしょうか。大崎地区でございます。大崎地区、概況は前回お示ししたとおりでございますが、ページをおめぐりいただきまして、5-17、5-18、大崎地区のまちづくりの目標としましては、「職・住・遊・学の拠点の魅力で、多様な人々をひきつける質の高い先端都市」としてございます。続きまして、5-19ページ、20ページには、まちづくり方針とそれぞれの取組の一覧を示してございます。

駆け足ですみませんが、5-21ページから、それぞれのエリアでの取組、概要を御説明させていただきますが、まず四角の1、大崎駅周辺エリアでございます。大崎駅周辺エリアにつきましては、これまでも再

開発を中心としたまちづくりを進められてございます。5-21ページの下端のほうには、事業完了地区、事業中地区等々記載させていただいており、今後も、業務機能ですとか住宅、生活支援機能等の導入を図りながら取組を進めていきたいところでございます。それから、黒丸の2つ目でございますが、こうした再開発事業に併せ、都市基盤、道路ですとか広場空間、歩行者ネットワーク、公園の充実も併せて図ってまいります。続きまして、5-23ページでございます。大崎駅周辺エリアにつきましては、先進的な取組、再開発事業が行われてございます。併せて、景観計画の重点地区の指定もしてございます。区の計画上、広域活性化拠点としてのシンボル性、高層建築物の相互の関連性、建築物のボリューム感の軽減等、景観形成を意識した取組を進めていくというところでございます。それから、併せてというところで書かせていただいておりますが、環境配慮ガイドラインに基づき、個別の開発区域における建築物の熱負荷抑制、設備の高効率化、自然エネルギーの活用等、環境配慮型の開発も誘導してまいります。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、5-25ページでございます。四角の4、五反田駅周辺エリアでございます。五反田らしい魅力とにぎわいのあるまちづくりの促進というところで、こちらには五反田駅、あるいは集客力の高いTOC、旧ゆうぽうと周辺、こちらについてはそれぞれでこれから、建て替え工事が行われておりますし、建て替えの計画がございます。五反田駅周辺エリアにつきましては、交通結節点としての利便性の向上や、商業を核とした交流機能、ホールを核とした情報発信・創造、宿泊等、にぎわい創出を引き続き図ってまいります。それから、5-25ページの一番下の黒丸でございます。五反田駅につきましては、スタートアップ、ベンチャー企業、こちらは非常に広く周知が進んでおりまして、これからも、大崎駅周辺との連携による相乗効果も得られるよう、地区内の老朽業務ビル等の建て替え、更新、そうしたところも進めながら、IT関連などのベンチャーやスタートアップ等の機能集積に資する更新・活用を促進してまいりたいというところで、5-26ページには、五反田駅の建物の更新を進めていくために小規模街区を大街区化していくと、こうした取組も促進していくというところで紹介させていただいてございます。

続きまして、5-27ページ、四角の5でございますが、当地区は目黒川という水資源がございます。丸の1つ目、目黒川から風の道、水と

みどりのネットワークを広げるアメニティー性の高い空間の創出の誘導というところを今後も進めてまいります。それから、目黒川の活用と継続的な水質改善についても引き続き取り組んでまいります。

資料をおめくりいただきまして、5-29ページ、四角の8でございます。高台の閑静な住宅エリア、花房山・池田山・島津山・長者丸等々の地域を抱えるエリアになりますが、区の用途地域では第一種低層住居専用地域に位置づけられてございます。こうした良好な低層住宅地の維持・保全、住宅景観の保全と育成、取組を進めていきたいというところでございます。

続きまして、5-30、大井地区でございますが、ページをおめくりいただきまして、5-32ページ、地区の目標としましては、「まちの魅力と暮らしがつながる生活文化都市」というところでございます。

資料をおめくりいただきまして、5-35ページを御覧いただけますでしょうか。具体的なそれぞれのエリアの取組でございますが、四角の1、大井町駅周辺エリアでございます。非常に今後10年間で取組、まちづくりが進展していくというところのエリアでございますが、土地区画整理事業などを活用した大規模土地利用転換による新たな都市機能の集積と、それからその下、「強靱」マークを打ってございますが、区庁舎再編と連携した、オープンスペースのネットワーク形成など、個性豊かな魅力とにぎわいのある中心核の形成というところでございます。それから、5-36ページ、上から2つ目の丸、歩いて安全・安心なまちづくりの推進。大井町駅周辺地区、バリアフリー基本構想に基づいてバリアフリー化の取組をさらに進めていきたいと考えてございます。

資料、ページをおめくりいただきまして、5-38ページでございます。四角の3、滝王子通りと周辺市街地エリアの滝王子通りにつきましては、広域避難場所である「大井競馬場・しながわ区民公園」に至る避難道路として機能強化、拡幅を、事業に基づき今後も進めてまいります。

資料をおめくりいただきまして、5-40ページを御覧いただけますでしょうか。四角の5、立会川・勝島エリアでございます。「強靱」マークを打たせていただいておりますが、立会川、旧東海道、勝島運河などの水辺空間をつないで、歩いて楽しい街並み・移動環境・親水空間の充実と。こちらのエリアについては、まちづくりビジョンを策定し、

現在、地域の取組、まちづくりを進めていくというところで、今、人道橋の整備に向けて計画を進めているところでございます。続きまして、5-41ページでございます。当地区、立会川がございまして、河口付近の水害や大雨に備える浸水対策というところも引き続き取組を進めてまいります。

続きまして、荏原地区でございます。ページ、5-44ページでございます。まちづくりの目標、「多様なライフスタイルでいつまでも住み続けられる安全・安心都市」というところでございます。

ページをおめくりいただきまして、5-47ページ、四角の1、武蔵小山駅周辺エリア。改定計画でも、都市活性化拠点として、区の西の玄関口にふさわしい複合市街地の形成、今後も取組を進めてまいります。5-48ページの一番下、「強靱」マークを打ってございますが、広域避難場所である「林試の森公園」周辺の道路拡幅ですとか、防災機能の強化も含めて、今後も取組を進めてまいります。

続きまして、5-49ページでございます。荏原地域につきましては、木密地域の解消、防災性の向上が最重要課題でございます。四角の2、放射2号線、補助29号線および沿道市街地につきましては、東京都と連携し、延焼遮断帯の形成、燃えない、燃え広がらないまちの取組を今後も進めてまいります。

四角の3、戸越公園駅・旗の台駅・中延駅周辺エリア。地域生活拠点として位置づけられている3駅周辺でございますが、戸越公園駅周辺における東急大井町線の踏切解消、こちらのほうは着工準備採択も受けてございまして、立体交差化に向けた取組を進めてまいります。それから、5-50ページでございますが、上から2つ目、旗の台駅周辺につきましては、バリアフリー基本構想に基づきまして、こちらについてもバリアフリー化、歩いて暮らせるまちづくりの推進を進めてまいります。

それから、四角の4、密集市街地エリアにつきましては、密集事業により老朽住宅の建て替え促進、道路の拡幅、公園用地の取得等、防災まちづくりをしっかりと今後も取組を進めてまいります。

続きまして、四角の5でございます。戸越公園周辺エリア、先ほどの戸越公園駅よりももう少し広い周辺のエリアになりますが、「強靱」マークの1つ目、戸越公園周辺、戸越公園につきましても広域避難場所になりますので、都市防災不燃化促進事業等により、周辺の建物の建て替

え、耐震化、不燃化を進め、戸越公園周辺の防火性、防災性の向上を図ってまいります。5-52ページ、一番下の「強靱」マークのところがございますが、「エコルとごし」、環境学習施設になりますが、こうした施設を活用しながら、緑や環境保全について楽しく学べる環境学習の機会の創出とともに、地域と連携した災害時の取組についても進めてまいります。

続きまして、5-53ページ、四角6、四角7、四角8については、6については閑静な住宅地エリア、四角の7については、教育施設が集積しているエリアがございます。そうしたところでの住宅地の維持・保全。それから、品川区の特徴でもあります、町工場と住宅が共存した市街地の維持についても、今後も調和をしっかりと図っていききたいというところがございます。

地区別の最後になりますが、八潮地区でございます。5-56ページを御覧いただきまして、まちづくりの目標でございますが、「質の高い水辺空間と良好な住環境を継承し、物流の広域的機能が充実した次世代の臨海都市」というところでございます。具体的なエリアの取組でございますが、5-59ページを御覧いただきまして、四角の1、八潮団地エリア、上から黒丸の2つ目、団地内のバリアフリー化の促進、今後も取組を進めてまいります。それから、「強靱」マークを打たせていただいておりますが、区内の各拠点との移動ネットワークの充実に向け、舟運の検討についても位置づけさせていただいております。

地区別の最後でございますが、5-61ページ、四角の3、鉄道車両基地エリアでございますが、現在JRにより進められております羽田空港アクセス線の整備に伴う新駅の要望に向けた検討および鉄道用地の土地利用やまちづくりの在り方の検討についても位置づけさせていただいているものでございます。

以上が地区別となりますが、引き続き、第6章、まちづくりマスタープランの実現とまちづくりのマネジメントの展開でございます。

ページおめくりいただき、6-1ページ、計画の中で掲げました「目指すまちのすがた」、分野別、地区別に定めたまちづくりの方針を着実に進めていくために、品川区（行政）だけではなくて、まちに関わる多様な人・組織のつながりを強化し、その力を生かせるよう、「協働・共創の場・関係性の構築」を進めていくというところが下の中の①でございます。そうした取組を進めながら、②、データの活用、ひと・まち・

	<p>都市活動の分析、それから地域主体の創造的活動・事業への支援、それで、それから改定のマスタープランの進行管理をしながら総合的にまちづくりを進めていくというところで、6-2ページ以降は①②③④のそれぞれを示させていただいてございます。</p> <p>協働・共創の関係性の構築、一番下のところに「子どもたちのアイデアを活かした公園づくり」ワークショップ等の例示をさせていただいておりますが、多様な主体が関係性を築きながら今後もまちづくりをしっかり進めていきたいというところでございます。</p> <p>次の6-3ページでございますが、これからのまちづくり、様々なデータを様々な担い手、活動団体等も活用できる形で、それぞれでデータを活用しながら、地域の課題解決、新たな魅力創出につなげていくというところで書かせていただいております。</p> <p>それから、6-4ページは、やはり地域主体のまちづくり、地域のまちづくり人材の育成等についてもしっかりと図りながら取組を進めていくというところで、真ん中の黄色がけのところでは具体的な区で行っている取組も例示として書かせていただいておりますが、専門家派遣、まちづくり補助金、あるいはまちづくり活動・事業への助成というところを進めながら、地域主体の活動・事業への支援を行っていくというところでございます。</p> <p>最後になりますが、6-5では、マスタープランの進行管理につきまして、おおむね5年のサイクルを目安に評価と改善を図っていきたいというところでございます。</p> <p>それから、最後になりますが、6-7と6-8ページ、6-9ページには、計画の中で、それぞれ分野別で目指すべき指標、目標年の指標も掲げながら取組を進めていきたいというところで記載させていただいているものでございます。</p> <p>駆け足となりましたが、説明は以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>残り30分となりましたけれども、5章、6章でお気づきの点がありましたら、あるいは疑問点がありましたら御発言をお願いしたいと思います。どうぞ。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。地区別になったところで、本当はかなり細かいことまで落とし込んでいて、非常によく書かれているなという感想を持ちました。本当に細かいところまで落とし込んでいるなど。</p>
委員	

	<p>ただ、1点、個人的なあれなんですけれども、一時期、品川は、国際都市・品川というのがかなり全面的に出ていた時代があるんですよね。それで、ふと気がつくと、今回のあれでは国際都市・品川というのがごっそり抜けているなという感じがしたんです。というのは何かというと、今、東京都というのは、オリンピック以降、MICE構想というか、要するに国際会議を東京に招致するというのを特化してやろうというのが非常に動きとして、今後の、オリンピック後の動きとしてあるんです。それとあともう一点は、国交省のほうも、インバウンドじゃないけれども、観光庁として要するにMICEをやる都市を強化しようというのを、確実に国としても考えているわけで、それで、文言で各地区で見ると、かつては大井プレイス構想の中に、国際化に対応した交流拠点ということで、これは1987年、この頃はかなり国際都市・品川というので盛り上がっていたと思うんです。今回その部分がどこの地区にも落とし込まれていないんですけれども、そういった会議だとか国際的な催物をやるような位置づけとしての品川区というもののあれは何かないのかなということを感じたんですけど、どうでしょうか。</p>
<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>いかがでしょうか、事務局。</p> <p>ありがとうございます。まさに御紹介いただいた、東京都、国際都市に向けた取組を東京都全体としては進めているわけなんですけど、資料のほうの5-6ページを御覧いただきまして、計画上、品川区全体が国際都市として向かっていくという表現というところもあろうかと思えます。そうした記載をしっかりとすることもあろうかと思えますが、地区別の中で5-6のところ、品川地区、やはり東京駅にも近く、リニアも開通していくというところで、まちづくりの目標では、「東京の玄関口となる国際交流都市」と、これは現計画もそうした位置づけをさせていただいております。引き続き大井地区、品川地区でこうしたまちづくりの目標の下、まちづくりを進めていきたいというところで、そうしたところの先進的な、先導的な動きになるのは、先ほど御説明した四角1の品川駅南エリアでの取組となっていくのではないかと考えてございます。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>いかがでしょうか。</p> <p>ということは、品川の南エリアでは、これからも計画として、そういった大きなコンベンションホールだとか、そういった施設も含めてという考え方でよろしいのでしょうか。</p>

<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>事務局。</p> <p>5－9ページのところの品川駅南エリアのところ、黒丸の2つで書かせていただいておりますが、こういった機能が今後必要かというところは、地域のまちづくりの検討の中で、あるいは東京都の全体の計画等も確認し、東京都とも協議を進めながら、まちづくりを進めていくということになると思いますが、ここで書かせていただいているのは、業務・商業・観光・宿泊・交流・居住等というところで、具体的な今御紹介いただいたコンベンションホール等の機能をこの地域で整備していくかというのはもうしばらく先の話になってくるのかなというところでございます。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>よろしいでしょうか。御指摘ありがとうございました。</p> <p>各地域のほう、すごくまとまっていて、全体的によかったんですけども、6－7、6－8、6－9のところ、これは目標値ということで、大変これは分かりやすい表だと私は思っています、例えば耐震のこととか、今91%が、令和7年ではおおむね解消とかいうところなんです、非常に分かりやすい。環境・エネルギーのところ、例えば建築の省エネ化に関する温室効果ガスの排出量の削減というところの数字の現状値、目標値が、単位が千t-CO₂という数字が出ていまして、非常に分かりにくいんじゃないかと。これが例えば巻末のところでの説明が出ているかというと出ていなくて、具体的にこの単位の説明とかがあったほうが一般の方が分かりやすいんじゃないかなという意見でございます。よろしくをお願いします。</p>
<p>委員長 都市計画 課長 委員長</p>	<p>ありがとうございます。用語集はまだこれから充実させていくんですよ。</p> <p>はい。</p> <p>その中でこの単位の説明をする、あるいは、この目標値の設定の仕方をもう少し一般の区民の方も分かりやすい目標設定にしたほうがもしかしたらいいのかもしれないけれども、そのあたりも御検討いただいたほうがいいかもしれませんね。</p>
<p>都市計画 課長 委員長 委員</p>	<p>はい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>5－9なんです、私、この地区の連合町会長をしています、ピン</p>

	<p>ク色に塗られた部分の中に都バスの車庫、それから都営住宅が相当数存在しているんです。これの開発について、昨日も町会長会議でちょっと集まりがありまして、今の、先ほどおっしゃったようなお話がありまして、都営の人たちが、自分たちは無視されていると、全然話を聞いていないと、そういう話が相当数起きまして、ちょっともめたんですが、区としては、都営住宅にお住まいの方への説明のほうは、こういう開発に関してはどういうふうになっているんでしょうか。それをちょっと聞きたいと思います。</p>
委員長	<p>回答できますか。どうぞ。</p>
まちづくり立体化担当課長	<p>まちづくり立体化担当課長の中道と申します。</p> <p>都営住宅につきまして、この地区で今現在まちづくりが機運が高まっているというところで、今現在、区としましては、都営住宅、東京都と今後の都営住宅の在り方について協議しているような状況でございます。まだまだ、東京都のほうも方針というものがまだ定まっていないというところで、なかなか都営住宅の各人たちに具体的に説明する状況までまだいっていないというところでございます。ですので、区としましては、個別に都営住宅の方々に御説明に行くというのも、まだそういった段階ではないのかなというところはあるんですけども、一方で、区のほうは、今現在どういうことがこのまちで今話し合われているか、いわゆるまちづくり、連立事業もありますし、駅前広場の話もございますし、また、地域で今機運が高まっているまちづくりのことといったことをチラシにして年に1回、ここに住まわれている権利者の方もそうですし、おうちをお借りして住まれている方、そういった方全員に今チラシを配布して状況を共有しているところでございます。</p>
委員	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。自治会の方は、連合町会の名称についても、品川区連合町会ということで、自治会という名前が抜けていたんですよ。私が連合町会長になりましたから、そこに品川区町会・自治会連合会と自治会の名前を入れていただいた次第なんです。そのように、相当あちらは敏感になっておりますから、十分御承知の上、お願いいたしたいと思います。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>大切な御指摘だったと思いますので、ぜひ、無視されるなんて思われるのは決してないように、注意して進めていただければと思います。情報共有はしっかりとさせていただいているということですので、よろし</p>

委員	<p>くお願いします。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>すみません、1点だけ。この長期計画の中に、電柱をなくす長期計画というのが、防災上とか子どもの安全の問題とか、いろんな部分のところで、電柱を長期的に計画的になくしていくという何かお考えがあるのであれば、何かの形で表現していただければいいかなと思っています。</p>
委員長	<p>以上です。</p> <p>担当の課長さん、お願いします。</p>
道路課長	<p>道路課長の森と申します。御指摘ありがとうございます。</p> <p>分野別の中に、無電柱化を進めていくという文言もございますけれども、個別の計画として、区のほうで無電柱化推進計画というのを立案しております、今それに基づいて競馬場通りや文庫の森周辺の無電柱化を進めているところでございます。それに基づいて進めながら、新たな御要望をいただきながら、無電柱化を少しずつ進めていければと考えております。</p>
委員長 委員	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>2点なんですけれども、1点、5-23のところ、真ん中の「強靱」のところでZEBとZEHは書いて、巻末のところにZEBは入っているんですけど、ZEHが抜けているようなので、これはつけられたほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>それから、八潮の件でございますけれども、ありがとうございます。前回、居住地区と分けたほうがよいということで、3エリアに分けていただいたみたいなんですけど、これはイメージなので、前回も申し上げましたように、多分、運河で遊んでいる、くつろいでいるというところの絵が、あまりにも大きいかなという気がしますので、これはもうちょっと変えたほうがいいんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員長 都市計画 課長	<p>事務局、よろしいですかね。</p> <p>語句の説明については、御指摘のとおり、加えて示したいと思えます。</p> <p>5-56ページのまちづくりのイメージ図、前回も御指摘いただきましたので、差し替えか、あるいはほかのものにするかも含めて、最終</p>

<p>委員長</p>	<p>形の段階まででしっかり検討していきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと何点がございます。</p> <p>まず、5－8、品川地区の全体の項目が出されていますが、この品川地区と、あと大井地区も同じなんです、一番右下にあります、マークが幾つか複数ありますが、緑の環境・エネルギーというものがどこにもついていないなと思ひまして、品川地区、また大井地区では環境・エネルギーについては取り組まないのかなという見方もされなくないかなとちょっと思ひました。無理やりつけるものではないと思ひますので、このマークのつけ方次第だとは思ひうんですけども、環境・エネルギーは世界規模に共通することなのかなと思ひましたので、この点について一度見ていただけるとよいかなと思ひました。</p> <p>もう一つが、5－36の先ほど申しましたバリアフリー計画ですが、今ちょっと区のほうの基本構想に係るホームページも見させていただいたところ、どうも基本構想のことを品川区さんではバリアフリー計画というふうな呼称を使っておられるのかなと思ひれますので、一般的な基本構想とするか、品川区として用いられている言葉を使われるか、それは御判断にお任せしたいと思ひます。</p> <p>その上でなんです、現在、特定事業計画の策定の目標年次が、平成31年度と令和3年度と、それぞれ既に過去のことになっておりまして、その後の基本構想、いわゆるバリアフリー計画の見直しや、その先の計画についてどういった進捗なのかなというところがお聞かせいただければと思ひます。</p> <p>それを踏まえて、5－36や、あと旗の台のほうの5－50も同じなんですけれども、いわゆるここに書いてある文言、歩道、公共交通、公園といった主要な公共施設等とありますが、公共施設のみならず、民間施設についても生活関連施設として指定できるところがとても大事だと思ひうんです。公共施設しか行かないのかという話ではないので。ですし、現在は小規模店舗、いわゆる本当に小さな魅力的なお店がたくさんあると思ひますが、そういったところもバリアフリー化を進めていきましょうということはもう既に掲げられていることでもあります。あとは、公共施設に入りますけれども、公立小・中学校についても、2年前</p>

	<p>のバリアフリー法の改正で特別建築物という、バリアフリー化の基準にちゃんと即しなさいというような施設に含まれるようになりましたので、そういった新しい動き、ないしは、もう既に基本構想を立てられたとき、作成されたときから大分変わっている部分も反映していくべきではないかなと思います。そう考えると、今の書き方はかなり過去の段階での内容にとどまるなという印象ですので、ぜひ、これまで国のほうでもバリアフリー法自体も変わってきた部分、そして今後の計画としてどういうふうに進めていかれるのか、それを反映したような内容を、御説明を入れていただきたいなと思います。これは御検討いただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。まず1つ目は、品川地区、大井地区に環境・エネルギーのマークがないという御指摘でしたが、それについてはいかがでしょうか。</p>
都市計画課長	<p>御指摘のとおり、今後のまちづくりでは、品川地区については駅南地区、あるいは大井地区については大井町周辺エリアのまちづくりにおいて、環境にも配慮した先進的なまちづくり、取組を進めていくというところでございますので、もう一度、そこ以外も含めて全体で、環境マークも含めて、このマークの位置づけの確認をして、最終的なチェックをしていきたいというところでございます。</p> <p>それから、御指摘いただいた、区のほうで計画と呼んでいる構想の話でございますが、御指摘のとおり、今この構想を定めているのが大井町と旗の台でございますが、計画期間的なところは過ぎていくところがあるんですが、この両計画は民間も含めて、エリア内のバリアフリー化の取組状況は毎年確認して、進捗状況を確認しております。いずれ、今回の改定が済んだ以降、両計画の見直しを含めて行っていくというところは計画上はございますが、御指摘のとおり、両地区の計画の記載が非常に古いままになっています。民間施設も含めてバリアフリー、学校、新たに加わったところもございますので、両計画の、両構想の今後の見直しの考え方も含めて、ここは御指摘いただいたとおり、しっかり、時点修正して、最終形として公表してまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>よろしく申し上げます。必要に応じて先生のアドバイスをいただければと思います。</p>

委員	<p>毎回同じことばかりで申し訳ないんですけども、5-32の左下の広町の再開発イメージという公園のところがあるんですけども、これと5-35の左下の広場の整備イメージ、全然整合性が取れていないですし、5-35みたいなのが出来上がっちゃったら、夏、人っ子一人歩いていない広場が出来上がりそうで、現に、しながわ中央公園ですか、ヘリポートのあるところ。お役所の方は一度、夏にあそこをのぞいていただきたいと思います。遊びたくても、暑くて遊べないんです。何にも日陰がないから。ですから、同じようなものをつくられても意味がないので、やはり街路樹を両脇にやられて大井中央公園まで誘導されるとか、そういうすてきなものをぜひおつくりいただきたいという意見でした。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。以前も御意見としてお聞きしていたかと思いますが、どういう絵を載せるかだとは思うので、何かありますか。お願いします。</p>
都市開発課長	<p>都市開発課長の多並と申します。御質問ありがとうございます。 今御意見いただきました両イメージ図なんですけれども、先のほうの、32ページのほうに入れさせていただいたのは、まちづくり方針ということで、大きくこの大井町周辺のまちづくり方針を定めたときのイメージ図を描かせていただきました。もう一つ、35ページにあります図のほうは、最新で今の開発計画で具体的なプランが出てきたということで、それを描かせていただいているところです。御指摘のとおりのような、この場所の位置づけ、しつらえの話なんですけれども、第一はやはり、ここが広域避難場所になっているということで、人々がにぎわえる空間を大きく取ろうというのがまず1つ目の目的です。もう一つは、この開発計画自体が、ここは民間計画になっていますので、下に駐車場を造った、その上部を使っているというような位置づけ、構造上の制約だとかもありますので、そういういろいろな位置づけの中で今こういうイメージが出てきていると。ただ、今の御意見をお伺いして、それはもちろん、計画、プランしている者に対して御意見はまた伝えさせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。</p>
委員長 委員	<p>じゃあ、さらにどうぞ。 すみません。この絵が描いてあるということは、もうほぼほぼ決まってるんじゃないかと思って私は危惧しているんです。何のためにこうやって会議をやっているのかということも含めて、たとえ下が駐車場</p>

<p>委員長</p>	<p>であっても、日陰をつくる工夫とか、歩道の上部をパネルをやって電球をとかいろいろ、あと、最近どこかでもありますけれども、水辺というか、人工的に水をまくような施設を造るとか。何らかの工夫で、やっぱりこれだけ温暖化が進んできている中でこういう形でやっていくというのは非常に工夫がないかと考えられますので、民間がやっていたとしても、区役所がここに出来るわけですよね。品川区全体からいろんな人が来る場所ですから、何か恥ずかしいんじゃないかなと私はすごく感じますので、よろしくお願いします。</p> <p>さらに御検討いただいて、民間業者さんともうまく調整していただければと思います。いろんな事情が多分あるんだと思います。先ほどの地下構造の話もあるし、場合によってはヘリコプターの着陸とかというのものもあるかもしれないですし、そのためにはあんまり植栽を入れるわけにもいかないかなという気もするんですけども、でも一方で、防災広場として、災害が起きたときに多くの人々が避難してきて、それが真夏だったらどうだろうとか、真冬、雨が降っていたらどうだろうかということを見ると、おっしゃっていることも一理も二理もあって、そのあたりバランスを取って、全体をAにしろ、Bにしろという1・ゼロの話ではないと思うので、部分部分、いろんなエリアができてくると思いますので、そのあたり、うまく計画する必要があるのかなと思うのと、ここに載せる絵をもう少し考えるのか、この絵はどっちも載せないのかというあたりはちょっと検討していただいたほうがいいかなと思います。先ほどのようなことを危惧される区民の方もいらっしゃると思うので。決まっていって、走っちゃってると思われるのも多分本意じゃないと思いますので、ちょっとそこは御検討いただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>6-7から6-9までの分野別の評価指標の件なんですけれども、これはこれでよろしいんですが、7の「強靱なまち」につながる分野連携に関しての評価値がないんですけど、なかなか、地震が起きてみないと分からないとか、そういうことはあるかと思うんですけども、これ、学校の成績ですと、数学と国語と英語があって、期末には平均点幾つだったので進級できますみたいな評価があってもいいのかなという気がしますので、7の「強靱なまち」に対する評価基準というのは考えられませんか。</p>

<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>事務局、いかがでしょうか。</p> <p>御指摘いただいた強靱な部分での評価指標、どうしても各分野連携して強靱なまちづくりを目指していくというところで、記載させていただいている、例えば都市基盤のところの細街路の整備率、道路の拡幅ですとか、防災・復興のところの住宅の耐震化率ですとか、あるいは都市基盤の都市計画道路の整備率ですとか、無電柱化のところすとか、それぞれの分野別での指標とともに、分野別連携のところでも書かせていただいています。側面的には強靱なまちづくりにつながっていく指標でもございますので、強靱だけでこの指標設定というのはちょっと難しいかもしれませんが、この資料、計画上、今のところに、強靱につながる指標ですよというところの記載をすとか、分かりやすく検討、修正していきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですね。前のほうで7と書いていて、ここに7がないのは違和感があると思います。ただ、おっしゃるとおり、強靱は総合的な判断をしなければいけないところで、それをうまく指標化するのはかなり難しいところでもあるので、書き方を工夫しましょうかね。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。どうぞ。</p> <p>すみません。5-59に書いてある、八潮団地の中のバリアフリー化の促進と書いてあるんですけども、具体的に品川区がどのような形で対応しようとして考えていらっしゃるのかちょっと知りたいんですけども。要は、やはり施設の中と書いていますので、いわゆる分譲のところだと、そこにはタッチできないですし、あとURなども、ほとんどURさんが全部やっていると考えると、何を意味しているのかなというのが疑問なんです。</p>
<p>委員長 都市計画 課長</p>	<p>お願いします。</p> <p>御指摘の部分もあると思います。この計画とは別にと言ったら変ですけれども、八潮については、今現在、地域の方からいろいろ御意見をいただきながら、八潮のまちづくりガイドラインというところも今策定を進めているところがございます。その中では、各主体が連携してバリアフリー含めて地域のまちづくりを進めていくというところは書かせていただいております。その5-59ページのところで、各主体がそれぞれという視点が記載的に抜けているところがございますので、いただいた御意見も踏まえて、分かりやすく修正していきたいと思</p>

<p>委員長</p>	<p>ます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>ちょうど時間もいい感じになってきましたけれども、まだまだ恐らく見切れない部分があると思いますので、お帰りになって見ていただいて、さらに何かありましたら事務局に遠慮なく伝えていただければと思います。</p> <p>それでは、今日の審議事項は以上、たくさん意見をいただきましたので、また事務局で整理していただいて、次につなげていきたいと思いません。</p> <p>では、事務局より事務連絡がありましたら、お願いいたします。</p>
<p>都市計画課長</p>	<p>本日、貴重な御意見いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今後の予定でございますが、今いただきました御意見、修正等を加えながら、12月頃、パブリックコメントを行っていききたいというところでございます。その前に、11月の中旬になります。まちづくりマスタープラン、都市計画法に基づく計画になりますので、品川区の都市計画審議会の中でも現状の検討状況については報告させていただきながら、12月にパブリックコメントを行っていききたいと。次回、第6回目の委員会でございますが、パブリックコメントの状況も含め、最終的な内容を、2月頃に開催し、御議論いただきたいというところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>いよいよ大詰めに差しかかってまいりましたので、パブリックコメントに向けての修正については、申し訳ないんですが、私に一任していただいて、事務局と共に、今日いただいた意見を基に修正するというところで、これよりはバージョンアップしたものでパブリックコメントをいただくということになるかと思っておりますので、御容赦いただければと思います。</p> <p>ちょうどチャイムが鳴りました。本日、非常に多数の御意見をいただいて、充実した委員会だったかと思っております。これを持ちまして、第5回の品川区まちづくりマスタープラン改定委員会を閉会したいと思います。どうもありがとうございました。</p>